

BL - 6 BカメラおよびIPリーダーのトラブルシュート

(2001/12/19)

理学電気株式会社 三浦 俊典

巨大分子ワイセンベルグカメラおよび大型IP読取装置の比較的簡単に対処できるトラブルの対処方法を記載しました。ご利用ください。

また、どうしてもうまくいかないときや下記以外のトラブルが発生した場合は担当者をお呼びください。

巨大分子ワイセンベルグカメラのトラブル

RS - 232Cエラーや 軸の挙動不審の場合、以下の要領でコントローラおよびコンピュータをリセットしてください。リセット後、架台の位置表示が変わっていますが、これはデフォルトの基準位置に表示が変わっただけで、実際の架台の位置は変わっていませんので、再アライメントの必要はありません。

(1) 巨大分子ワイセン用コントローラの電源をOFFする。

コントローラキャビネット最上段のユニットの電源 (Fig.1) だけでよいです。

(2) 20秒以上待ってから電源をONする。

(3) PC - 9801をリセットする。

(4) アプリケーションソフトが立ち上がれば実験の続行が可能になります。

上記以外のメカ的な不具合などが発生した場合は担当者をお呼びください。



Fig.1 ワイセンベルグカメラコントローラ



Fig.2 読取装置コントローラキャビ

大型IP読取装置のトラブル

1. ErrorによりIPが出てこない

(1) IPがスライダの上に見えている場合

読取装置本体の電源 (Fig.2) をOFFする。

IPをゆっくり前面側に引く。
すると重くなるので、そこで一旦止める。

これは、前端押さえ (Fig.3) が、IPをクランプしている状態です。

クランプしている前端押さえの奥側を押してIPをまたゆっくり引く。

本体の電源をONする。

“Initialize” を実行する。

- (2) IPがスライダの上でない場合
読取装置本体電源をOFFする。

スライダを固定している4個所の化粧ビス (Fig.4) をゆるめて (脱落防止ですが、回しすぎると外れてしまいますので注意してください) スライダをはずす。

ドラムは、手で回せるので奥の方向へゆっくり回す。

前端押さえ金具にクランプされているIPを金具の奥側を押してはずす。

ゆっくりとIPを傷つけないように取り出す。

スライダを元の位置に戻して固定ビスを締め、固定する。

本体の電源をONする。

“Initialize” を実行する。

IPをスライダの上に載せ、送り用ローラ (Fig.5) が軽くかむことを確認する。

軽くかまない場合はスライダの取り付けがうまくいってないので、スライダ固定ビスを緩め、多少揺さぶってスライダの取付

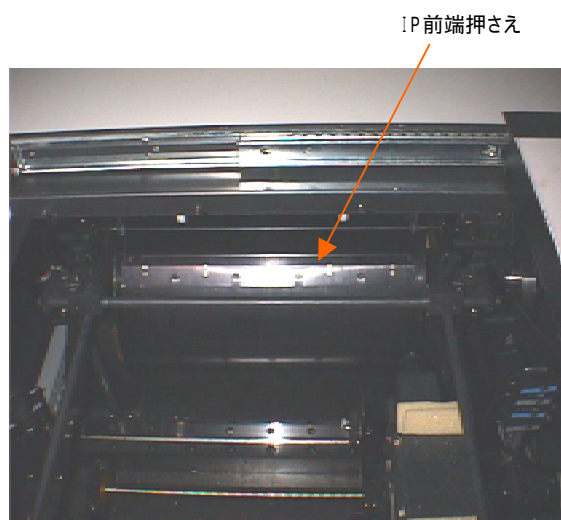


Fig.3 読取装置ドラム部

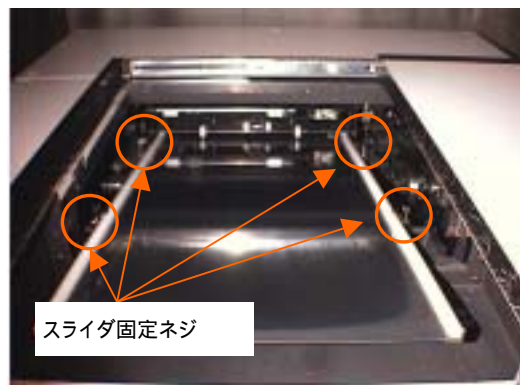


Fig.4 読取装置スライドラ開口部



Fig.5 読取装置スライダ奥

金具がスライダ取り付け部のLにあまっていることを確認してください。スライダを固定し、IPを載せてもう一度確認してください。

2. Error などによりIPが入っていない場合

(1) IPの裏表を確認する。

表が白、裏が黒で、すべすべするほうが黒です。

IP有無センサ - 表示(スライダ右下の4段あるユニットの下から2段目: Fig.6)の赤と緑ランプが点灯している事を確認してください。IPを正常に置いてランプが点灯しなければ、調整が必要ですので担当者をお呼び下さい。

センサユニット



Fig.6 読取装置センサユニット

(2) IPを置く位置を確認する。

IPを置く位置は、スライダの手前側のエッジと、IPの手前側のエッジを一致させ、かつスムーズに前後する事を確認して下さい。IPが手前すぎると送り用口 - ラに届かないためロ - ディングできません。また、IPを奥に入れすぎると、装置内に落下する事があります。

(3) エラ - が発生した後は、経験上、読取装置本体の電源を入れなおしたほうが、次のトラブルが発生しにくいようです。電源をOFFした場合は、20秒ほど待って(回路内電圧が降下するまで)からONしてください。

(4) また、"Initialize"を忘れずに実行してください。

3. ドラムが回転したまま読み取りが終了しない

(1) 「Display」プログラムなどで、現在読み取っているデータのファイル名ができていないか確認する。

(2) ファイル名ができていなければ、まだデータの転送が終了していません。もうしばらくお待ちください。この場合、Indyを含めたネットワークの問題も考えられます。担当者にお知らせください。

(3) ファイル名ができていれば、以下の要領でIPを取り出す。

「Control」プログラム上の"Stop"ボタンを押してドラムの回転を停止させる。

"Manual" "IP Loading" "Unloading" を実行し、IPを排出させる。

スライドドアをあげ、IPを取り出す。

4. SCSI Error

- (1) Indyをrebootする。
- (2) 読取装置の電源をOFFする。
- (3) Indyが立ち上がったら、読取装置の電源をONする。
- (4) “Initialize”を実行する。

5. 画面上は動作しているが実際には動いていない場合

- (1) 「Control」プログラム上の”Stop”ボタンを押して動作を停止させる。
- (2) “Initialize”を実行する。
- (3) もう一度、読み取りを開始する。
- (4) それでもダメな場合はシステムをリセットする。
「Control」プログラム上の”Stop”ボタンを押して動作を停止させる。
Indyをrebootする。
読取装置の電源をOFFする。
Indyが立ち上がったら、読取装置の電源をONする。
“Initialize”を実行する。